

授業科目	北九州の技と文化				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	EN10603J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1			
担当教員	林 裕二							
授業概要	<p>北九州には、長年、ものづくりに携わり、優れた技術・技能をもった「匠」、「達人」がいます。利便性が追求される現代では、地域で育まれてきた技や伝統文化に出会い、接する機会も少なくなってきました。本講では、達人たちの生き方や仕事に対する向き合い方を学び、これからの人生への礎としてほしいと思います。この授業では、北九州の文化圏でその技や文化を継承し、守ってこられた外部講師の方々の講義のほか、体験を通して、地域に伝承される技やその背景の文化の一端を知り、ものづくりのあり方について考えます。また北九州の魅力をさらに引き出そうとしている西南の学生の力も伝えます。すべての回を遠隔授業で行う。 (水曜日 5限:17:00~18:40)=100分授業</p> <p>同時帯の「キリスト教と現代」(神崎先生)は、前半の7回に授業日程が組まれています。「北九州の技と文化」は後半の7回となります。履修しようと思えば、両方可可能です。 * 外部講師(2回目~6回目)の順番が入れ替わることもあります。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1、地域・社会で活躍することの意義を習得することができる</p> <p>2、伝承されてきた技と背景的歴史が理解できる</p> <p>3、講義内容を聴き取り、レポートとしてまとめることができる</p> <p>4、伝承されてきたことを理解して、発展させる提案ができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	100	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)			100				100	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
講義内容の意味を正確に理解し、適切な表現で課題を分かりやすくまとめることができる。また客観的な根拠(エビデンス)に基づいて論理的に主張を述べ、独創的な提案ができる。				講義内容の意味を理解し、適切な表現で課題をまとめることができる。根拠(エビデンス)を示して、自らの主張を述べ、提案ができる。				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ;オリエンテーション 本講義の目的と授業の進め方、達成の目安、評価方法等について 解説する。(林)6/9	講義	講義の概要について理解し、復習する。	30分
2	テーマ;地域で育まれてきた文化(1) 倉織とその文化(外部講師、林) 6/16	小講義	講義の概要について理解し、復習する。	40分
3	テーマ;ものづくりへの挑戦 作りの技と文化(外部講師、林) 6/23	小講義	講義の概要について理解し、復習する。	40分
4	テーマ;地域で育まれてきた文化(2) 地域の食文化-「ぬかだき」を知る(外部講師、林) 6/30	小講義	講義の概要について理解し、復習する。	40分
5	テーマ:お茶の伝統と文化を学ぶ。(外部講師、林) (外部講師、林) 7/7	講義	講義の概要について理解し、復習する。	40分
6	テーマ:環境モデル都市と文化 (外部講師、林) 7/14	講義	講義の概要について理解し、復習する。	40分
7	テーマ;1.北九州の魅力をさらに引き出す学生の力 2. まとめる (林) 7/21	講義	講義の概要について理解し、復習する。	40分
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	初回の授業(オリエンテーション)で講義全体の概要を説明する。関連する文献を読み、予備知識を得ておく と、授業の内容を深めることができる。			
テキスト	プリント等を公開する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	大学図書館の朝日新聞記事データベース閲覧Ⅱビジュアル(大学図書館、キャンパス内の情報演習室等から閲覧可能です) 知へのステップ 第5版 —大学生からのスタディ・スキルズ 学習技術研究会(著)出版社:くろしお出版; 第5版(2019)=図書館蔵 新聞・雑誌を利用します。図書館には何種類もあります。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	日頃から新聞、雑誌等を読み、ニュースを見て、世の中でどのようなことがおきているかを知ることが大切です。図書館を活用しましょう。 社会にはいろいろなことがあることを知るのには、紙の新聞です。いろいろなことが社会にはあることが新聞を広げることで、わかります。			
達成度評価に関するコメント	レポートの内容については、授業中に指示する。 指定された日時に提出すること。 ありません。単位認定の条件です。			出席は評価の対象では

